

ポータブルワイヤレス送信機

取扱説明書

品番 WX-4700

技術基準適合証明品

保証書別添付



もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	2
上手な使いかた	5
■取扱上のお願ひ	5
■使用上のお願ひ	5
各部の名前と働き	6
操作のしかた	7
チャンネル設定のしかた	8
■グループについて	8
乾電池の入れかた	8
電池残量データの送信について	9
多チャンネル運用について	9
■多チャンネル(8~15波)同時使用対応機種	9
■チャンネルの設定	9
接続のしかた	10
仕様	11
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2~4ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

このたびは、ポータブルワイヤレス送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、ミキシング機能をもった可搬型のワイヤレス送信機です。有線マイクロホン（別売品）を接続し、ワイヤレスマイクとして使用します。

- 別売のマイクロホンや、補助音源としてポータブルCDプレーヤーなど4つの入力をミキシングして、1波で送信することができます。
- 電源は、ACアダプター（付属品）または単3乾電池4本による2電源方式です。
- 入力1の音量レベルを検知して、入力2～4を自動的にミュートする、自動ミュート機能を備えています。
- 周波数安定度の高いPLLシンセサイザー方式を搭載しています。
- ワイヤレス受信機 WX-UR502、WX-UR504（別売品）と組み合わせて使用することにより、使用電池の状態を3段階で受信機に表示させることができます。
- ポータブルアンプ WX-PW81、WX-PW82（別売品）と組み合わせて使用することにより、簡単に使用できます（電池残量機能は使用できません）。

付属品をご確認ください

ACアダプター……………	1	電源コード……………	1
チャンネル設定用小型ドライバー……………	1	取扱説明書（本書）……………	1
表示ラベル(チャンネル・グループ・15チャンネル・グループ名) ……	1	保証書……………	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

航空機内では電源を切る



運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

医用電気機器に近づけない (手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない)



禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

ACアダプターは必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 抜くときはプラグを持って抜いてください。

ACアダプターは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

ACアダプターのほこりなどは定期的にとる



ACアダプターにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・ACアダプターを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやACアダプターの修理は販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

ACアダプター使用時は屋外で使用しない



禁止

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

電池は極性（プラスとマイナス）を正しく入れる



間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

ニカド電池は使わない



禁止

万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

違う種類の電池や、新旧の電池は混ぜて使わない



禁止

電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因となります。

上手な使いかた

■取扱上のお願ひ

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

取り扱いはていねいに

- 床に落としたり、物に当てたりしないでください。アンテナなどの破損の恐れがあります。
- ご使用後は、アンテナ保護のため、アンテナをたたんでください。

水は禁物

水にぬれた場合はすぐに電源スイッチを「切」にし、乾いた布で拭いてください。

電源について

- ACアダプター（付属品）によるAC100 V、または単3乾電池（別売品）4本を使用します。
- 使用後は、必ず電源スイッチを「切」にしてから、ACアダプターをコンセントから抜くか、または乾電池を取り出してください。電源スイッチを「切」にしても、電源からは完全に遮断されません。微量の電力を消費しています。

乾電池は正しく使う

使いかたを誤ると、電池の液漏れで商品が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱、火の中への投入はやめてください。

放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

■使用上のお願ひ

強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に本機および接続した有線マイクロホン近づけると、ノイズが発生する場合があります（携帯電話は同じ800 MHz帯を使用しているため、混信する場合があります）。

電波の到達距離は

本機とワイヤレスアンテナ間は、屋外で約100 m、屋内で約50 mまで離れて使用できます。これ以上離れると使用できません。（上記の距離は、受信機および混合分配器のフィールド選択スイッチが「標準」、アンテナ感度スイッチが「0 dB」の場合）

雑音が入るときは

- ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2 m～10 mが適当です。ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
- 受信機やワイヤレスアンテナはデジタル機器や高周波雑音のでる機器などから、できるだけ離して設置してください（5 m以上）。

付属の電源コードは本機専用です

- 他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

送信機どうしは、50 cm以上離して使用する

- 2本以上を50 cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
- 金属などが、使用している送信機に接触すると、雑音が発生する場合があります。

同一空間で16波以上使用する場合は

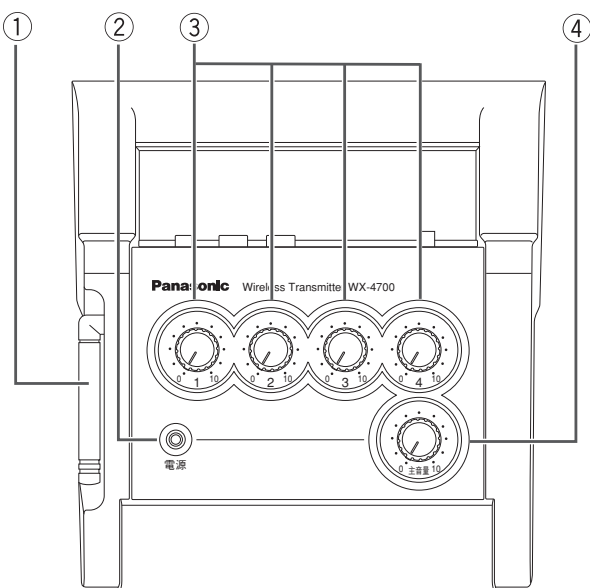
お買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れは

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部の名前と働き

●天面



①アンテナ

立てた状態で使用し、使用しない時は、たたんでください。

②電源表示灯 [電源]

電源スイッチを「入」にすると点灯します。
乾電池使用時は、電池残量が少なくなると点滅し、電池残量がなくなると消灯します。

③入力音量調節つまみ [1,2,3,4]

入力1~4の入力毎の音量を調節します。

④主音量調節つまみ [主音量]

入力1~4をミキシングした後の、全体の音量を調節します。使用する受信機の機種によって異なります。

⑤ヘッドホン音量調節つまみ

[ヘッドホン出力 -20 dBV 32 Ω]
ヘッドホン出力の音量を調節します。

⑥ヘッドホン出力端子

入力1~4の入力音がミキシングされて出力されます。モニター用ヘッドホン（別売品）と接続すると、受信機側への出力音をモニターして聞くことができます。

⑦入力レベル切換スイッチ [マイク入力 1,2

補助入力 3,4 -20 / -60 dBV]

入力レベルを切り換えます。

「-60 dBV」：有線マイクロホン使用時

「-20 dBV」：CDプレーヤー、カセットデッキなどの補助的音源（BGMなど）使用時

⑧検出感度切換スイッチ

[自動ミュート 検出感度 低 / 中 / 高]

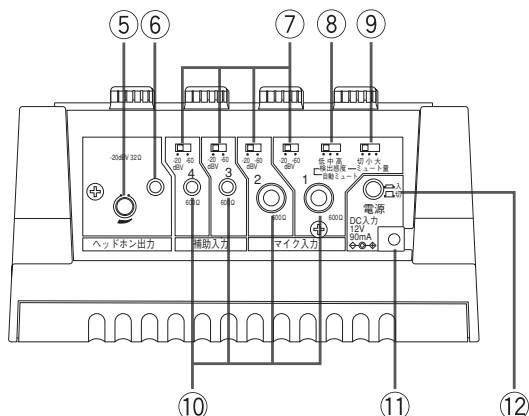
自動ミュート機能を動作させるための、入力1の検出感度を切り換えます。自動ミュート機能の入切は、ミュート量切換スイッチ⑨で行います。

「低」：入力1が大きい音で自動ミュート機能が動作し、入力2~4をミュートさせます。

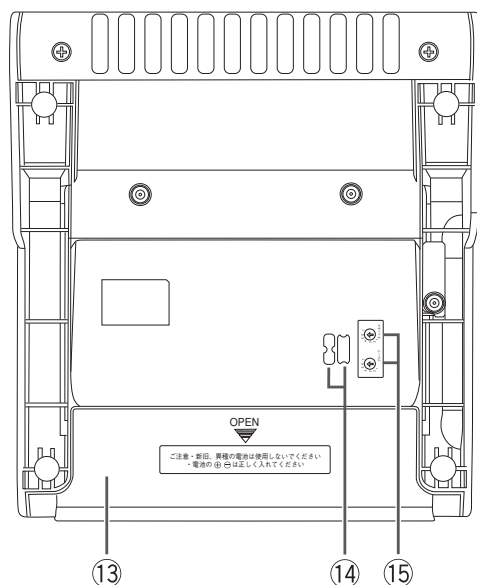
「中」：入力1が「低」と「高」の中間程度の音で自動ミュート機能が動作し、入力2~4をミュートさせます。

「高」：入力1が小さい音で自動ミュート機能が動作し、入力2~4をミュートさせます。

●後面



●底面



⑨ミュート量切換スイッチ

[自動ミュート ミュート量 切/小/大]

入力1の音量レベルを検知して、入力2~4を自動的にミュートさせる（自動ミュート機能）場合の、ミュート量を切り換えます。

「切」：自動ミュート動作を行いません。

「小」：入力2~4の音量→約1/3（-9 dB）

「大」：入力2~4の音量→約1/6（-16 dB）

⑩入力端子 [マイク入力1,2 補助入力3,4 600 Ω]

入力1~4の入力音がミキシングされて送信されます。

マイク入力1,2：有線マイクロホン（別売品）を接続

補助入力3,4：ポータブルCDプレーヤー、ポータブルカセットプレーヤー（別売品）などを接続

⑪電源入力コネクタ [DC入力 12 V 90 mA]

AC電源を電源にするときは、ACアダプター（付属品）を接続します。

乾電池を収納していても、ACアダプターを接続した場合は、ACアダプターが優先されます。

⑫電源スイッチ [電源 入 ■ / 切 ■]

●本機の電源を入/切します。押すと「入」、戻すと「切」です。押すと電源表示灯②が点灯します。

●電源スイッチを「切」にしても、電源からは完全に遮断されません。電源を完全に遮断する場合は、ACアダプターをコンセントから抜くか、または乾電池を取り出してください。

⑬電池カバー

（☞8ページ）

⑭表示ラベル貼付位置

（☞9ページ）

⑮グループ・チャンネル設定スイッチ

[グループ チャンネル]

グループ・チャンネルを設定します（☞8ページ）。

設定は、必ず電源スイッチを「切」にした状態で行ってください。

操作のしかた

1. アンテナを立てる。

2. チャンネルを設定する。

設定のしかた：☞8ページ

受信機側の設定：☞受信機の説明書

3. 有線マイクロホン、ポータブルCDプレーヤーなどを接続する。

接続のしかた：☞10ページ

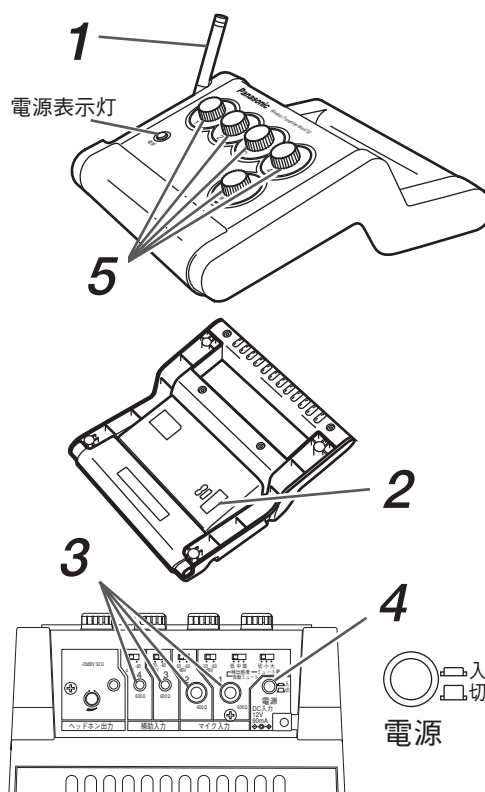
4. 電源スイッチを押して「入」(■)にする。

電源表示灯が点灯します。再度押して「切」(■)にすると、電源表示灯が消灯します。

5. 音量調節つまみを回して、音量を調節する。

電源の接続について

使用電源が、ACアダプター（付属品）の場合は、10ページ、乾電池（別売品）の場合は、8ページをご参照ください。

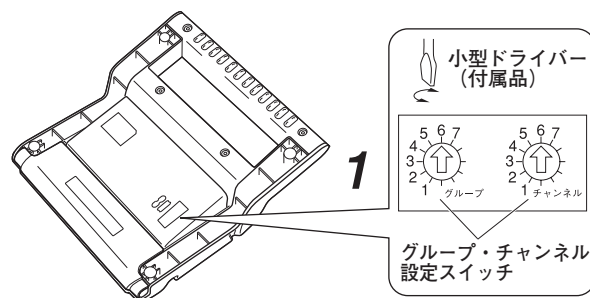


チャンネル設定のしかた

- 送信機と受信機は、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用する本機およびワイヤレスマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください（同グループ、異チャンネル）。送信周波数表（※11ページ）をご参照ください。
- 複数のワイヤレスマイクと送信機を使用する場合は、下記の「グループについて」をお読みください。

お願い
必ず電源スイッチが「切」の状態で行ってください。

1. グループ・チャンネルを設定する。
小型ドライバー（付属品）で、受信機のグループ・チャンネルと同じ数字に合わせます。



■グループについて

- 同じ場所で複数のワイヤレスマイクと送信機を同時に使用するときは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えて使用します。学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとに異なるグループのワイヤレスマイクと送信機を割り振ります。
 - ・グループ1～4……最大6波まで。　・グループ5……5波まで。　・グループ6……1波まで。
 - ・グループ7……7波まで。ただし隣接した他の部屋では他のワイヤレスマイクと送信機は使えません。
- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。設定方法については、「多チャンネル運用について」（※9ページ）をご参照ください。

メモ

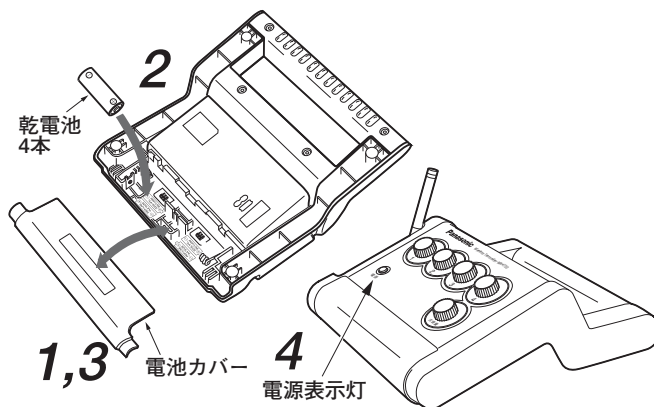
- 送信周波数表（※11ページ）に無いグループ・チャンネルに設定した場合、また、グループ・チャンネル設定スイッチが数字の位置に設定されていない場合は、電源表示灯が早い点滅をし、送信できません。そのままの状態にしておくと、乾電池を消耗します。

乾電池の入れかた [乾電池（別売品）使用時]

お願い

- 「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。
- 乾電池の交換は、必ず電源スイッチが「切」の状態で行ってください。
- つぎのような場合は、乾電池が消耗しています。新品の乾電池と交換してください。
 - ・電源表示灯が遅い点滅をした場合。
 - ・電源表示灯が点灯しない場合。

1. 電池カバーを外す。
2. 乾電池（別売品）4個を入れる。
表示の極性に従って入れてください。
3. 電池カバーを取り付ける。
元通りにしっかり閉めます。
4. 電源表示灯の確認をする。
電源スイッチを「入」にすると点灯することを確認してください。



電池残量データの送信について

電源スイッチ「入」後、約10秒で、使用中の電池残量を示すデータが自動的に送信されます。その後、約1分毎にデータが再送信されます。

ワイヤレス受信機 WX-UR502、WX-UR504（別売品）の取扱説明書を合わせてお読みください。受信機の表示とマイク側電池残量の目安は以下のようになっています（常時25℃連続使用）。

●パナソニック製 単3形アルカリ乾電池 LR6 (PG)使用の場合

マイクの表示	電池残量の目安	受信機の表示	電池残量の目安
赤色点灯	使用可能 (新品電池にて15時間以上)	緑色点灯	約15時間から約9時間以上
赤色 遅い点滅	残量なし※	橙色点灯	約9時間未満
		赤色点灯	残量なし※
		消灯	情報なし

●パナソニック製 単3形マンガン乾電池 R6P (NB)使用の場合

マイクの表示	電池残量の目安	受信機の表示	電池残量の目安
赤色点灯	使用可能 (新品電池にて7時間以上)	緑色点灯	約7時間から約5時間以上
赤色 遅い点滅	残量なし※	橙色点灯	約5時間未満
		赤色点灯	残量なし※
		消灯	情報なし

※残量なし：新品乾電池と交換してください。

メモ

- 電池残量のデータを検出し表示できる受信機はWX-UR502、WX-UR504（別売品）です。他の受信機では、電池残量を表示することはできません。
- 受信が途切れると電池残量表示はリセットされますが、再度データを受信すると再点灯します。
- 電池残量（寿命）は、電池のメーカー・種類・使用時の温度などによって異なります。

多チャンネル運用について

■多チャンネル（8～15波）同時使用対応機種

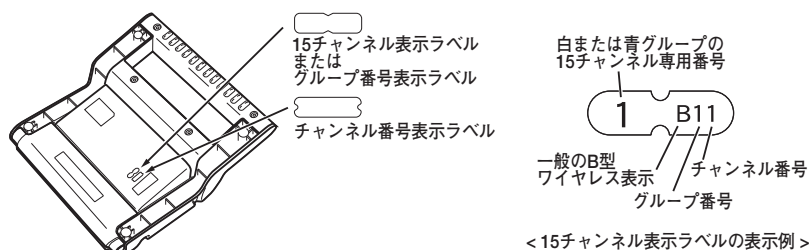
以下の15波同時対応機種をご使用ください。（2012年8月現在のものです）

- ・ワイヤレスマイク WX-4100B,4212C,4300B,4360B,4370B,4600,4700,4800
- ・ワイヤレス受信機 WX-UR502、UR504（WX-UD500を含む）
- ・混合分配器 WX-4910
- ・ワイヤレスアンテナ WX-4950A,4965,4970

●15波同時使用時の運用方法は、ワイヤレス受信機 の取扱説明書をご参照ください。

■チャンネルの設定

- 同時に使用するマイクは、同グループ（※11ページ表の白または青）・異チャンネルにしてください。
- 表示ラベル（付属品）を貼ると、チャンネル区別しやすくなります。



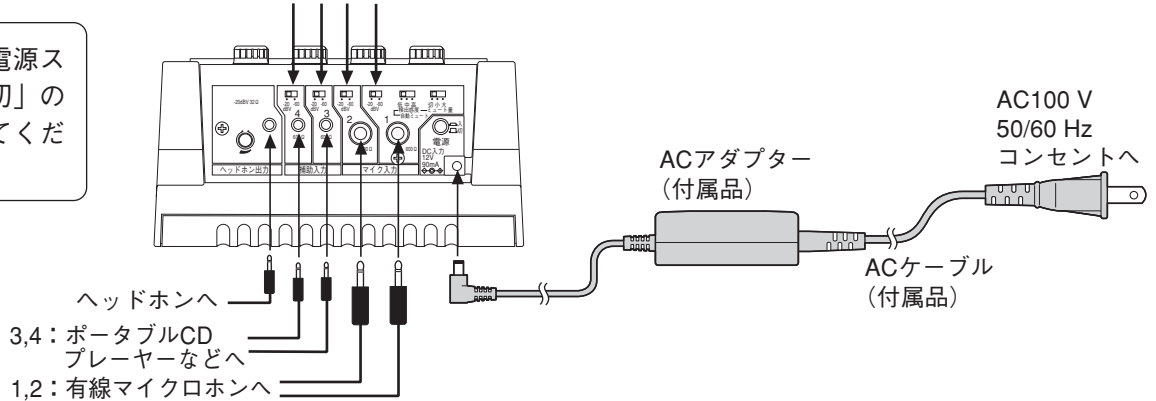
接続のしかた

接続する機器の取扱説明書を合わせてよくお読みください。

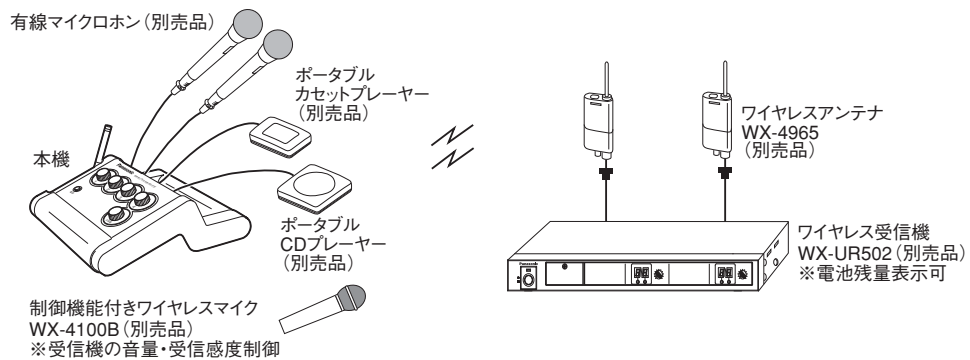
接続機器により「入力レベル切換スイッチ」を設定する
-20 dBV / -60 dBV

お願い

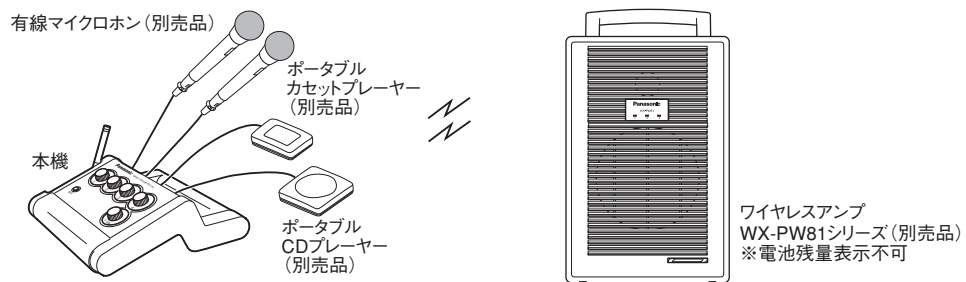
- 接続は必ず電源スイッチが「切」の状態で行ってください。



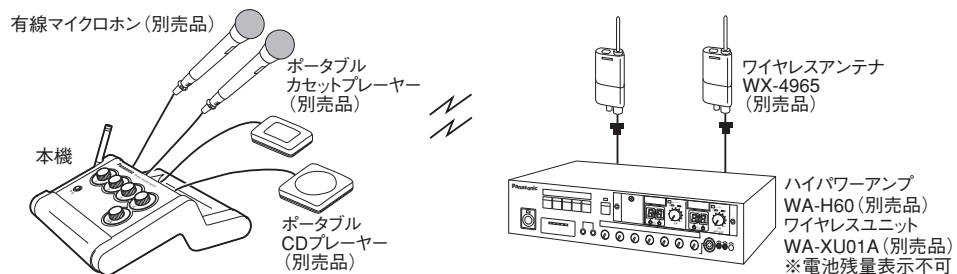
● 使用例1



● 使用例2



● 使用例3



お願い

- 入力1~4には、他の受信機出力を接続しないでください。
- ポータブルCDプレーヤー、ポータブルカセットプレーヤーなどは、マイクの補助的音源 (BGM用など) として使用できますが、単独では使用しないでください。

仕様

トーン信号	32.768 kHz
電波形式	F3E、F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW
到達距離	ダイバシティ受信機 WX-UR502システムにて見通し約100 m (屋外) ※1
変調感度 (感度切換)	-60 dBV: ±5 kHz FM (74 dB SPL 1 kHzにて)、-20 dBV: ±5 kHz FM (118 dB SPL 1 kHzにて)
マイク入力1	平衡入力: 大型複式ジャック、600 Ω、入力感度-60 dBV / -20 dBV切換、自動ミュート
マイク入力2	平衡入力: 大型複式ジャック、600 Ω、入力感度-60 dBV / -20 dBV切換
補助入力3,4	不平衡入力: φ3.5 ミニ複式ジャック、600 Ω、入力感度-60 dBV / -20 dBV切換
ヘッドホン出力	不平衡出力: φ3.5 ミニ複式ジャック(L+Rモノラル)、-20 dBV、32 Ω、出力調節つまみ(後面)付き
主音量ボリューム	入力1~4ミキシング後の音量可変
周波数特性	100 Hz~10 kHz (1 kHz基準 50 μs エンファシス)
最大入力音圧	110 dB SPL
入力等価雑音	40 dB SPL以下 (Aカーブ)
自動ミュート	ミュート量切換: 切 / 小 / 大、入力検出感度切換: 低 / 中 / 高
制御方式	トーン信号によるASK
制御信号	電池残量用
電源	ACアダプター (付属品) または単3形乾電池 (別売品) ×4個
消費電流	約90 mA (ACアダプター使用時)、約80 mA (乾電池使用時)
乾電池寿命	約15時間 (パナソニック製 単3形アルカリ乾電池 LR6 (PG) 使用時) (常温25℃連続使用にて) [約7時間 (パナソニック製 単3形マンガン乾電池 R6P (NB) 使用時)]
使用温度範囲	0℃~+40℃
寸法	幅 178 mm 高さ 65 mm 奥行き 200 mm
質量	約590 g (本体のみ)、約820 g (付属ACアダプター、ACケーブル含む)
仕上げ	パネルカバー: スカイブルーメタリック色塗装、ケース: ダークグレー色ABS樹脂

※1 受信機のフィールド選択スイッチは「標準」、アンテナ感度スイッチ「0 dB」です。

送信周波数 (0.125 MHz間隔、30波)							
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)		チャンネル(下1桁目)				
	1	2	3	4	5	6	7※
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

※ 7波使用例

メモ

- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1~6の中から選定された周波数で構成されています。設定方法については「多チャンネル運用について」(P.9 ページ)をご参照ください。
- B型パナソニックの送信機をラムサの受信機と組み合わせる場合は、ワイヤレス受信機 WX-R822 (別売品)をご使用ください。それ以外の組み合わせでは、B型ラムサとの共用はできません。

15波用グループ対比表

(必要に応じて切り取り、B8サイズカードケース等に入れてお使いください)

15波用白グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B11	806.125
2	B12	806.375
3	B31	806.625
4	B32	806.875
5	B13	807.125
6	B33	807.375
7	B51	807.625
8	B24	807.875
9	B52	808.125
10	B53	808.375
11	B35	808.625
12	B26	808.875
13	B44	809.125
14	B45	809.375
15	B55	809.625

15波用青グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B21	806.250
2	B22	806.500
3	B41	806.750
4	B23	807.000
5	B61	807.250
6	B42	807.500
7	B14	807.750
8	B43	808.000
9	B34	808.250
10	B25	808.500
11	B54	808.750
12	B15	809.000
13	B36	809.250
14	B16	809.500
15	B46	809.750

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 製品名 ポータブルワイヤレス送信機
- 品 番 WX-4700
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号